

2013年6月12日

2013 フォーミュラ・ルノー2.0 ALPS 第3大会レビュー ―― 笹原右京、自己最高位の7位入賞――

■大会概要

開催地：ベルギー（スパ-フランコルシャン：一周7.004km）

開催日：2013年6月6日（木）～9日（日）

■スパ-フランコルシャン・レビュー

6月7日（天気：晴れ時々曇り／路面：ドライ） レース1 予選 20番手／レース2 予選 18番手

6月8日（天気：曇り／路面：ドライ） レース1 決勝 7位

6月9日（天気：曇り／路面：ドライ） レース2 決勝 16位

フォーミュラ・ルノー2.0ALPS 第3大会は、F1世界選手権ベルギーGPの舞台でもあるスパ-フランコルシャンで開催されました。6日（木）に実施された3時間の合同テストでは34台中9番手、7日（金）に実施された40分間の練習走行では33台中6番手と非常に良い流れでした。

7日（金）の予選は2グループに分けて実施され、笹原は15台が出走するグループBに振り分けられました。しかし、セッション開始直後こそ好タイムを記録しましたが、その後はタイムをなかなか縮められず、2分20秒052を記録するに留まり、8日（土）の決勝レース1は20番グリッドからのスタートとなりました。

8日（土）の決勝レース1、笹原は抜群のスタートを決めただけでなく、追い抜きや先行車両のリタイアにより、わずか2周で11番手へ進出しました。直後の3周目、事故処理のためセーフティカー（SC）が導入され、4周目には赤旗でレースは一時中断となりました。約18分後にSC先導によりレースが再開されると、笹原はこのチャンスに10番手へ順位を上げ、11周目にも1台を追い抜き9位でチェッカードフラッグを受けました。レース終了後には上位2台にタイムペナルティが科され、笹原の順位は自己最高位となる7位へと繰り上がりました。

9日（日）の決勝レース2、笹原は予選のセカンドベストタイムにより18番グリッドからのスタートになりました。笹原はレース開始直後の追い抜きこそ叶いませんでしたが先行車両にピタリと迫り、1台また1台と攻略して3周目には13番手へ順位を上げました。4周目には先行車両の接触事故で11番手へ進出し、2レース連続入賞を期待させました。しかし、5周目を目前にしたコーナーでスピンを喫しました。すぐに態勢を立て直し19番手で戦列に復帰するも、16位でチェッカードフラッグを受けるに留まりました。

次の第4大会は7月6～7日にイタリア・モンツァで開催されます。笹原のヨーロッパ・フォーミュラカーレース挑戦をぜひ今後もご注目いただき、末長いご支援をよろしくお願い申し上げます。

■ 笹原右京のコメント

「6日の合同テストから7日の練習走行までの流れには手応えがあり、合同テストは9番手、練習走行は6番手でした。予選でもセッション開始直後は良い感じでしたが、周回を重ねるごとにクルマの操縦性と自分の感覚が合わなくなって、練習走行より1秒近くも遅いタイムしか記録できませんでした」

「決勝レース1は、事故の影響で赤旗中断になるなど荒れましたが、最後まできちんと走りきり、自己最高位の7位入賞を果たせてホッとしています。今回も先週のレースと同じで、スタートがうまく決まりました。また、チームがクルマの戦闘力をより高めてくれただけでなく、僕自身も乗り方を工夫したのが良かったのだと思います」

「決勝レース2は、周囲のアクシデントに巻き込まれることなく順調に順位を上げ、4周目には11番手まで浮上しました。でも、その週のバスストップシケインでクルマのリアを滑らせてスピンしてしまい、大きく順位を下げました。今回は7日の練習走行で6番手タイムを記録した勢いを予選につなげられませんでした。課題解決の方向性は見えています。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます！」

